

【調査研究報告 調査研究 E チーム】

研究テーマ： 「仮想空間（メタバース）による学びの土台作り」

【目的】

第4次長野県教育振興基本計画に示された「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、多様な児童生徒の新たな学びの場の創出につなげるため、仮想空間（メタバース）の教育的活用や支援内容、プラットフォームについて検討をする。

【内容】

取組の調査と視察

県外の取組の視察を行いました。

EDIX 東京（教育総合展）での情報収集

◆ 江戸川区の不登校メタバースへの取組

東京都 VLP 事業をうけて、不登校施策の更なる充実を図り、子供たちの居場所の選択肢を設けるために導入されました。先行事例の調査や事業内容を決定後、教員の体験期間・校長会でのデモを実施し、本格運用しました。随時ヒアリングを行い、更なる情報発信、コンテンツの充実を図ることで、活性化できる事業になるように検討を行いました。

効果：この空間だから繋がれる児童生徒がいることがわかりました。

課題：長期的な事業者や支援員の確保が懸念されます。

◆ 富士ソフト

学びが多様化し、オンライン学習が一般的になりました。バーチャル空間上に再現した教育空間にアバターを登場させ、ビデオ通話からコミュニケーションをとります。学研との共同開発で、集合授業や個別指導が可能になります。

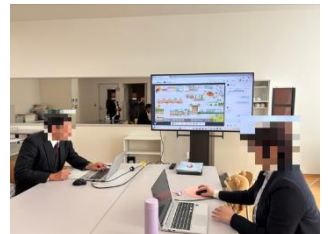
効果：あらゆる場面において事業者と綿密な連携を取り、サポートが充実していることがわかりました。

課題：児童生徒一人ひとりへの丁寧な指導と助言が必要となります。

岡山県総合教育センター

岡山県で取り組まれている ICT を活用したオンライン上の学びの場（メタバース）を視察し、支援の現状や課題を収集しました。

新岡山県不登校総合対策では、様々な機関と連携を取り、多様な学びの場を数多く提供しています。その一つでもある「オンライン応援室 まんまリンク」は、自分のペースで過ごせるオンライン上の居場所であり、「個別活動」「複数活動（イベント）」「フリースペース」を設け、担当部やボランティアが協力して運営を担っています。



【まとめ】

成果

◆ この分野では、不登校支援への取組が多く、居場所の確保や学習面のサポートなど、多岐にわたっています。どの部分に焦点を当て、サポートするかがポイントになります。

検討事項

- ◆ ハード・ソフトについて、設置期間からの長期的な支援
- ◆ メタバース上での児童生徒の気持ちの変化